

議会費

議員報酬

1億615万円
(前年度:1億1,406万円)

(担当:議会事務局 議事調査係兼総務係)

14名の議員に対し、条例の定めにより、報酬や期末手当を支給します。また、退職した議員に給付される議員年金の費用負担のため、毎年一定額を市議会議員共済会に支払います。なお、議員年金制度は平成23年6月をもって廃止されました。

・議員報酬 (8,427万円)

【内訳】

報酬 6,059万円
期末手当 2,368万円
※6月・12月の年2回

●月額

議長 42万4,000円
副議長 37万7,000円
議員 35万4,000円



・市議会議員共済会負担金 (2,188万円)

新たに議員年金を受け取ることのできる議員はいませんが、現在年金を受給されている方への支払いのために、全国の自治体が負担しているものです。負担金は、議員報酬の月額や議員数等を基に算出され、毎年市議会議員共済会より通知されます。

【内訳】

共済会負担金 2,170万円
共済会事務負担金 18万円

財源

市の負担額 1億615万円



議会運営費

1,370 万円
(前年度:1,209万円)

(担当:議会事務局 議事調査係兼総務係)

議会を円滑に運営するための経費です。

会議は毎年3・6・9・12月に開催される「定例会」と臨時に開催される「臨時会」があります。定例会や臨時会以外においても、議会は、各委員会による調査活動や先進地への行政視察、政務活動費による議員活動などを通して、市民福祉の向上に努めます。全国市議会議長会などの公務の出席旅費や、加入する様々な協議会の負担金もこの事業で支出します。

【主な経費内訳】

● 旅費 (512万円)

委員会行政視察…152万円

議会には、議員で構成される委員会が設置されています。

市が抱える行政課題の解決に向けて、他の自治体の先進的な取り組み事例やその効果を、現地へ赴き調査し、具体的な案を示した「政策提案」を市長に提出します。

設置されている委員会

● 常任委員会

総務文教消防委員会…財政や基本計画、教育、防災などを担当

産業厚生建設委員会…道路や水道、福祉、商工業、観光などを担当

● 特別委員会

中滑川駅周辺整備検討特別委員会

公共交通問題検討特別委員会

● 議会報編集委員会…議会だよりの編集を担当

● 広報広聴委員会…議会の広報、情報発信などを担当



議長、副議長の公務出席旅費…98万円

全国市議会議長会等の会議の出席や、中央省庁への要望等のための経費です。

● 議長交際費 (108万円)

議長が議会を代表し、外部団体等との交流のために会合に参加する際の会費や志などとして支出されます。

● 政務活動費 (504万円)

議員の調査研究その他の活動に資するために、全議員に支給している費用です。

使い道の透明性を図るため、領収書等は翌年度、市のホームページ上に公開しています。使わなかった政務活動費は返還します。

● 政務活動費

議員一人あたり 月額 3万円

※金額は自治体によって異なります

全ての支出について領収書の原本の提出を義務付けており、議長がその内容を確認しています。



議場

● 負担金 (137万円)

【主な負担金】

全国市議会議長会負担金

31万円

財源

富山県市議会議長会負担金

70万円

市の負担額

1,370万円

議会費

議会事務局運営費

635 万円
(前年度:585万円)

(担当:議会事務局 議事調査係兼総務係)

議会事務局は、議会のサポート役として、議会に関する事務を担います。各委員会の調査活動の補佐や議員の行政視察や公務の随同行、本会議や委員会などの会議録を作成します。

【主な経費内訳】

- ・ 随行旅費 (108万円)
行政視察や、正副議長の会議の出席などの出席に際し、事務局職員が同行するための費用です。
- ・ 印刷製本費 (185万円)



議会だより印刷費
…118万円

議会活動の周知や、議会の結果を伝えることを目的として、2・5・8・11月の年4回発行し、市内の全世帯に配布しています。編集作業は、議会報編集委員会が担当します。

会議録印刷費…63万円

会議の内容を正確に記録する文書である、「会議録」を作成し、製本します。

- ・ 委託料 (227万円)
本会議録音反訳委託料
会議録の作成にあたり、本会議や委員会の音声を文章にする作業を、業者へ委託します。

会議録データベース化委託料
会議録はインターネット上で誰でも閲覧できます。会議録のデータベース化を、業者へ委託します。



財源

市の負担額

635万円